



里山イベント

里山自然体験学習

熱中症や害虫駆除の仕掛けを学ぶ



8月4日(土)にA.CITYの里山で自然体験学習を行いました。

毎年、子ども達の夏休みに合わせて開催しているこのイベントですが、今年は想定以上の猛暑や西日本豪雨災害など、健康や命に関わる事象がおこっていることから、熱中症や秋に向けて活動が活発になるスズメバチの対策について勉強し、親子でハチを捕獲して駆除するための仕掛けをつくりました。

一昨年の里山自然体験学習で設置した鳥の巣箱も取り外し、きれいに掃除した後、今回作ったスズメバチ駆除の仕掛けとともに里山の木に吊るします。

熱中症の勉強では、実際に熱中症で気分の悪い人がいたらどうするかという質問に「身体を冷やす」「救急車を呼ぶ」など、子ども達から元気な答えが返ってきていました。また、ハチに刺された時の応急手当や、熱中症対策の空調服などのツールも実際に用意され、子どもたちは興味深々。

最後は、里山に設置されている防災かまどでお湯を沸かし、防災食のチキンピラフを作って、みんなでいただきました。

防災と自分の健康を守るというテーマを初めて取り入れてみた今回の自然体験学習。楽しみながら、実践的な知識を学べるので、今後のイベントにも活かしたいと思います。

A. CITYの行事予定



8月11日(土) 有価資源ごみ回収日

8月19日(日) 自治会定例役員会

8月19日(日) 親子3代ソフトバレーボール大会

8月25日(土) 有価資源ごみ回収日

8月25日(土) 防災リーダー養成講座(ワークショップ)

9月 2日(日) 防災の集い

館内防災放送のマニュアル 及び放送基準を検討中

西日本豪雨災害の発端になった7月6日の雨は、広島県内各地に甚大な被害を及ぼしました。大塚地区でも避難勧告が発令され、不安な一夜を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

こういった災害による非常事態に直面した場合、避難するのか、自宅待機なのか、待機するならどういった行動をしたほうが良いのかなど、家に残された個人が様々な判断をしなければなりません。A・CITYでは近年、この判断のよりどころになればと、災害が予想される特別警報が気象庁から発表された場合、マンションにおける行動規範の例を館内放送しています。例えば、豪雨の場合、

- ①山側の居室から移動する。
 - ②低層階に居住している方は、浸水した場合、同じ棟の上階に階段を使って避難する(垂直避難)
 - ③(地下に電気制御室がある場合)浸水による停電の恐れがあるので、非常灯の準備をする。
 - ④断水に備えて風呂水を溜める。飲料用水を確保する。
- などです。今後も様々な災害を想定して検討を進める予定です。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

敬老会のお知らせ

今年度もA・CITY自治会主催による敬老祝賀会を次の日程で行います。

●日時 9月17日(月・祝日)

●場所 Aシティプラザ大ホール

対象(自治会員世帯で平成30年12月31日までに満70歳以上となる)の方へ、祝賀会の案内を8月末までにお届けいたします。同封の出欠票にご記入の上、案内記載の届け先にご提出ください。

該当される方で、案内が届かない場合は、お手数ですが担当までお問合せください。

へお問合せ先

西田(080-9138-6692)

今年度は自治会による演芸やゲーム等を企画しております。皆様のご参加をお待ちしています。

親子3代ソフトバレー 大会開催のお知らせ

大塚体協スポーツイベント第2弾!

8月19日(日)に開催予定のスポーツイベントは親子3代ソフトバレーボール大会です。

普通のバレーボールと違い、少し大での一時停止、信号の確認など交通法きめの柔らかいボールで行います。

親子三世代で楽しめるスポーツで自覚した安全運転の励行をお願いします。参加希望の方は回覧板で案内して

おりますので、お申し込みください!!
また、申し込み忘れた方は各住区の体育部員までご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。



民生委員・児童委員だより

【いつまでも

安全運転を続けるために】

高齢ドライバーは経験豊富な運転のベテランです。しかし年齢とともに視力・体力・記憶力・判断能力は確実に落ちます。それを自覚しないで運転し、起こした重大事故が報道されています。

例えば「85歳の男性が家族からの運転反対を無視し高校生1名死亡、1名重体の事故」「90歳の女性が信号を見間違え、横断歩道を渡っていた4名を死傷する事故」等です。

高齢者の方が運転する場合、交差点

そして「運転に自信が薄らいだ」「信号が見えにくい」「運転技量の低下を家族や知人に指摘される」などの様な状況になりましたら、運転を極力控えるか免許証の返納を考えましょう。

人生の最終コーナーを回って事故を起こせば、暗く悩み多い人生になることは間違いありません。

免許証の返納を行った場合、それに代わる身分証明書として希望すれば「運転経歴証明書」が発行できます。またタクシーが10%引きで利用できます。

詳しくは警察本部にお問合せ下さい。

☎ 082-228-0110

西日本豪雨災害義援金 赤十字活動支援募金

7月28日(土)に、西日本豪雨災害で被災された地域への支援活動として、自治会主催で町内街頭募金を行いました。5時間の募金活動で19万4,726円が集まりました。また赤十字活動支援募金は59,700円でした。募金は関係機関を通じて日本赤十字社へおさめ

いつも心に防災を

～熱中症による死亡事故

とんでもない猛暑が続いています。

今年6月25日から7月29日までの間に、熱中症で搬送された患者は52、619人。気象庁は今年の異常高温が続く気候を「命に危険を及ぼすレベルで、災害と認識している」と表明しました。秋が訪れるまで、気を抜かないで、熱中症予防に細心の注意をはらわなければなりません。

今回は、私が従事した「建設工事現場」で起きた熱中症事故をお伝えします。

朝8時の気温が31度の猛暑日。

Aさんは、3人で工場の屋根を補修する工事に従事しました。10時の休憩は日頃と変わらない様子で仲間と談笑。その後気温はうなぎのぼり。発表が36度でしたから、屋根の上で作業するAさんたちの作業場は、照り返しで45度近かったと想像されます。

昼休みに戻ってきたAさんは、体が少しだるいと訴え、昼食も十分に摂らず横になりました。昼寝をして、体調が戻ったと判断し、先輩格の彼は午後2か所ある作業場の片方を一人で担当しました。

これが悲しい出来事の始まりです。

15時の休み時間にAさんは休憩所へ戻ってきませんでした。日頃から休まず仕事を続けることが多かったため、同僚は気に留めなかったとのことです。

17時に仕事が終わってもAさんの姿が見えません。

現場作業員全員で手分けして探索。作業場で意識なく横たわっていたAさんを発見。救急車で病院に運びましたがそのまます息を引き取りました。

この事故で私たちが起こした大きな過ちは2つ。

ひとつは、昼休みに体の不調を訴えたAさんを病院に連れて行かなかったこと。点滴を打てば命を落とすことはなかったのでは…。

もう一つは、一人作業を許したことです。一人では万が一の時、助けを呼ぶことができません。仲間と共に作業していたら、きつと早い治療を施すことができたはずで。

自分一人にならないこと、仲間を一人にしないこと、災害を防ぐ上でとても大切なことだと教えられました。強く心に刻んで下さい。



A・CITYの防災士紹介



タワーズイースト

住谷 利治

(敬称略)

防災士フォローアップ研修会に参加して

6月2日(土)広島市役所本庁舎にて表記研修が開かれました。

午前10時までに受付を済ませ、各自治会、町内会の防災士の方々が、各々指定された席につきます。

講師は兵庫県立大学大学院・阪本真由美准教授で「災害に強い地域をつくる」自分ができること・地域ですること」というタイトルで講演が始まりました。

前半は阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本・地震などの地震災害、そして広島土砂災害。次に関東・東北豪雨災害など土砂災害についての対応の課題を学びました。

災害発生前と発生後のそれぞれに個人と地域がすることが分けられるそうです。以下にまとめてみました。

◆発生前に

- ・個人としてやること
- ・自宅周辺の安全確認
- ・避難場所の確認
- ・家族の安否確認
- ・【地域としてやること】
- ・地域住民の情報把握
- ・災害対応体制検討

◆発生後に

- ・【個人としてやること】
- ・被害状況の確認
- ・生活環境の整備
- ・【地域としてやること】
- ・安全確認
- ・避難所運営
- ・情報対応など

後半はワークショップとして図上演習がありました。課題は、台風接近に伴う大雨被害の発生を防ぐために、どんな行動をとればよいか具体的にイメージすることです。時系列で変化して行く状況を、グループ内でディスカッションし、参加者それぞれの思いを書き出し、意見を統一して発表しました。一つの課題に対して色々な意見・考え方があり、とても参考になりました。

私も防災士として、このような研修で得た知識を活かし、住民の方々と一緒に災害に強い街づくりに一役を担っていきたいと思っています。

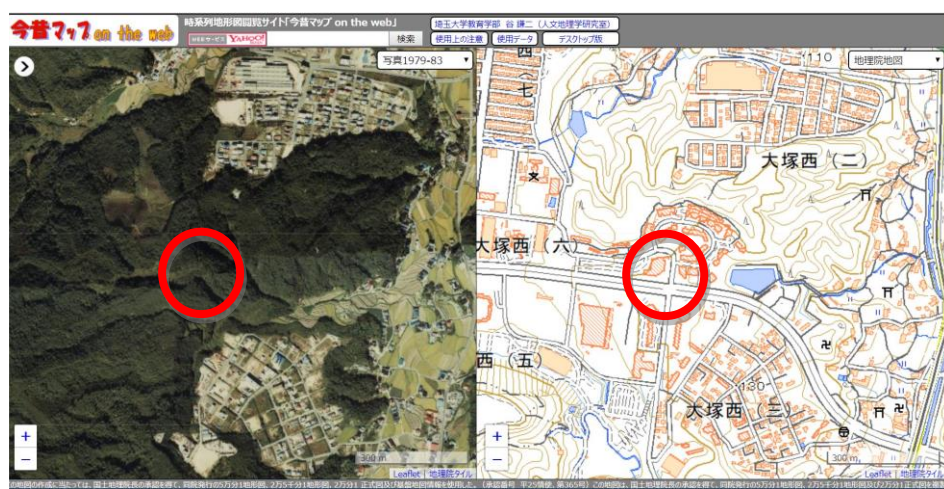
(パレット防災士・田中耕司)



7月の豪雨により、広島のみならず岡山でも甚大な被害を受けました。私自身、安芸郡坂町で6月下旬まで仕事をしており、見慣れた街並みの変わりようの大きさにショックを受けました。幸いにもA.CITYでは目立った影響はありませんでしたが、あらためて、自然に対する恐怖を抱きました。

これまでの経験したことのない、想像もできない雨量に対してどのような行動をとれば命が救えるのか。もちろん、ハザードマップや行政が発信する情報も重要です。さらに、自身が住んでいる場所が、どのような地形であったのかを知ることが重要ではないでしょうか。

現在と過去の地形を簡単に比べることができるサイトを紹介します。「今昔マップ」で検索して、サイトを開き、広島を選択すると下図が表示されます。左側は昭和55年の地図です。○はA.CITY中央交差点を示しています。大きく変化していることがうかがえます。最新の技術で建築された街ですが、急峻な山であったことから、山に近い住区側に土砂の流失が想定でき、充分な注意を払う必要があると思われます。(フォレスト・山田繁樹)



→ A.CITY中央交差点付近の現在(右)と昭和55年頃(左)。
※38年前は、四方を山に囲まれた谷間であったことがわかります。

【参考】今昔マップ
埼玉大学教育学部社会講座
人文地理学
谷 謙二研究室ホームページから

大塚・伴南ボランティアバンクのご紹介

大塚・伴南学区ボランティアバンクの概要

事務所 大塚学区集会所 2F (花の季台)

開設日 毎週(月・水・金) 時間: 10:00 ~ 12:00
(受付窓口) TEL 849-1777 FAX 555-8396
※祝祭日、お盆、年末年始は閉館します。

お困りですか?
お手伝いしますよ!

大塚・伴南学区社会福祉協議会の活動として、平成24年6月に設置され今年度で7年目を迎えます。ボランティアバンクは、各町内から応募、登録されたボランティアの方により、高齢者・障がい者・幼児・児童の保護者の皆さまを対象に支援、援助を行っています。

支援項目

- ・通院介助 ・薬の受け取り ・外出支援 ・散歩同行 ・買い物代行 ・買い物同行
- ・草刈 ・植木の手入れ ・植木の散水 ・ゴミ出し ・庭の清掃 ・ペットの散歩支援
- ・話し相手 ・遊び相手 ・簡単な大工仕事 ・電球の取替 ・家具の移動
- ・子育て活動の支援 ・園児の送迎(送迎バスまで) ・その他困りごとの相談 など

A.CITYの利用実績(内訳)

平成24年6月~平成30年7月まで 計48件

(内訳) 散歩同行、ゴミ出し、大型ゴミの搬出、家具の移動、植木の散水、障がい児童の登下校時の送迎、電球の取替、車いすの貸出等

※ボランティアバンクには車椅子2台設置しております。